

全日本ベテランフェンシング選手権大会競技要項の一部修正について

本年3月26日-27日に開催する第22回全日本ベテランフェンシング選手権個人戦(兼 第37回滝口杯争奪東京都ベテランフェンサー個人選手権 兼 2022年世界ベテランフェンシング選手権派遣選考会)の競技要項の一部に変更があります。以下の通り修正いたしますのでご確認下さい。

【修正項目】 変更は第12項のみとなります。修正部分を赤字で記載しています。

=====

12. 競技方式:

上記9. に記載の年齢カテゴリー別で、予選(1回戦)はプール戦、その後はトーナメント戦(ED)を行います。但し各年齢カテゴリーの参加選手数により、試合方法を変更する場合があります。変更は当日技術委員会(DT)よりお知らせします。

(1) 競技規則は、2022年1月以降発効のFIE規則最新版を適用します。

(2) 但し、用具服装については以下の扱いとします。

● 2021年12月2日付日本フェンシング協会(ルール・審判委員会)通達による「FIE 用具規定(m)の変更に伴う大会の適用について(補足)」(2022年1月1日から適用)に謳われている以下の内容を適用します。2022年度からは基本的にシニアの用具規定を適用することになります。参照: [65f617e1f063abbbad3b107ea82ef582.pdf \(fencing-jpn.jp\)](https://www.fencing-jpn.jp/65f617e1f063abbbad3b107ea82ef582.pdf)

● 世界選手権派遣選考会を兼ねるこの競技会に出場する選手には同通達におけるシニアの用具規定を推奨するものですが、通達に付記された下記のジュニア・カデについての規定に基づく用具でも出場を可とします。

<ジュニア・カデについて>用具規定(上記2021年12月2日付通達から抜粋。)

「ジュニアおよびカデの選手がFIEポイント対象大会、全日本選手権等の大会に出場する場合、用具規定はシニアの用具規定が適用されるが、ブレードについては従来のブレードも使用可能とする。」従来のブレードには、FIE認定マークが無いもの、Maraging鋼でない鋼鉄も含む。

・ユニフォーム(上下) 350N 以上または FIE 公認マーク付き(800N)

・半袖プロテクター FIE 公認マーク付き(800N)

・マスク FIE 公認マーク付き(1600N)

・サーブルグローブ FIE 公認マーク付き(800N)

・ボディコード FIE ルール(~~コード~~・プラグは透明なもの)

・エペソケット FIE ルール(ソケット内のコードを通す穴は2つ)

但し、本戦(世界ベテラン選手権大会)に出場する場合にはこの通達による<ジュニア・カデについて>の用具規定は適用されませんのでご注意ください。

● エペ・フルーレのエリミネーション・ディレクト(ED)において、1分の無意欲試合と審判に認定された場合、警告があり、警告が累積した場合相手または両者に得点を課する適用がある。(競技規則 t.124)

● 審判員は、剣・ユニフォーム・プロテクター・グラブ・マスク等について、試合開始前にピスト上で劣化やほころび等を確認します。

その際、劣化やほころび等があると認められた場合、選手はイエローカードの警告を受け、適正なものに交換しなければなりません。

(3) シード選手について <以下略・修正なし>

以上